

相談



新規就農・就業相談会 & 体験報告会開催

新規就農希望者に熊本県新規就農支援センター・国・県・市町村・県認定研修機関・農業法人などが就農に関する相談をお受けします。

とき 平成28年1月17日(日)

午前11時～午後4時

ところ ホテル熊本テルサ(熊本市中央区水前寺公園28・51)

その他 参加費無料、服装自由、事前申込書不要

問い合わせ先

(公財)熊本県農業公社新規就農支援センター ☎096・385・2679

講演・展示会

全国小・中学生作文絵画コンテスト応募作品展示

小学生部門は「宇宙に飛び出そう」、中学生部門は「宇宙のなぞにせまろう」をテーマに全国の小・中学生の宇宙に関するさまざまな作文や絵画が並びます。

とき 12月13日(日)～23日(水)

午前10時～午後5時

ところ 荒尾総合文化センター・ギャーリー

料金 無料

問い合わせ先

荒尾総合文化センター

☎0968・66・4111

アートフォーラムライブ合唱団ピッコロクリスマスミニコンサート

出演するのは、ソプラニスタ岡本知高さんのコンサートに出演した児童合唱団ピッコロ。ピアニスト榎本潤さんの指導を受け、この日のために一生懸命練習してきました。天使の歌声がやさしく心に響きます。

とき 12月20日(日)午後1時～

ところ 荒尾総合文化センター・アートフォーラムライブ

料金 無料

問い合わせ先

荒尾総合文化センター

☎0968・66・4111

平成28年度 農業大学校新規就農支援研修生を募集します

新たに、プロ経営者コース(青年就農給付金(準備型)の受給可能)を新設しました。

研修コース・対象者・研修期間

研修コース 対象者	受講日 受講期間	定員	研修の特徴・対象
プロ経営者コース 就農予定時 45歳未満の人	週5日(月～金) 4月～翌3月(12ヶ月間) 午前8時50分 ～午後4時20分	10人 程度	即戦力として本格的な農業経営を目指す人 個人管理の研修ほ場で、栽培し、販売まで行う研修になります。 青年就農給付金(準備型)が受給可能です。(要件を満たす人)
実践農業コース 平成28年4月現在で 63歳以下の人	週3日(月水金) 4月～12月(8ヶ月間) 午前8時50分 ～午後4時20分	40人 程度	農産物販売を目指す人 共同管理のほ場で研修します。
特別セミナー 聴講コース (座学のみ)	毎月1回(全8回) 原則第4水曜日 午後1時30分 ～午後4時	15人 程度	農業で生計を立てることを目指す人で 特別セミナーのみ聴講する人

受講料 無料

ただし、次のものは受講者負担
傷害保険料、教科書代、小農具代など
プロ経営者コースの個人管理のほ場にかかる肥料、農薬、種苗費などは個人負担

申込期間 12月4日(金)～平成28年2月5日(金)午後5時まで(郵送の場合は当日消印有効)

問い合わせ先 熊本県立農業大学(研修部) ☎096・248・6600

歴史調査の楽しみ方

江栗城跡

26

大田 幸博

(元・菊水町史編纂委員会副委員長)

十 月半ばに、大学史学部のOB会で兵庫県の姫路城と竹田城に出かけました。勉強になりましたが、余りの人の多さに圧倒されました。

調査は、菊池川を見下ろす南東側斜面に足を踏み入れました。数多くの倒された木枝や孟宗竹などは、綺麗に片づけられており、作業員の方々に感謝です。

城尾の調査

本体部分

南西端の造成地は⑮で、裾部に集落からの登城道(四道)が上っています。道の下位には、城尾・本体の残地⑯があります。これについては、2区画(a・b)に細分されますが、造成の度合いが低く、緩傾斜地の状態に留まります。ただし、⑯・bは、道の肩部に土塁(長さ13・5m・上面幅2・1m)が積まれています。

登城道

⑮の下位で、二股に分かれ、城尾を西縁下(A)と南東縁下(B)から包み込むように登っています。

Aは、④の南西下で止まる様に見えますが、かつては、堀切(ほりきり)に向かう城内道であったと思われます。全長94・5m、幅1・

15m、肩部に土塁はなく、城尾の西側斜面を掘り穿めた凹道です。

Bは、1・2m幅の本格的な道で、⑯・aの上位も、土塁の形にすぎません。この分は長さ20m、幅4mあります。これから上位の長さ37mは、最大幅2・5mの完全な土塁になります。現在、長さ120m分まで調査しました。B・①は、土塁から枝分かれた道幅の狭い通路です。城内道でしょうか。これから調査します。

南東側斜面：B・①から下位は、長さ15m程の緩傾斜地で、自然地形のままです。端部は、凝灰岩の岩肌が露呈した絶壁で、県道を見下ろすと、足がすくみます(高低差18m)。この状態は、I郭の西端部と同じです。I郭は、採石跡だろうと思いましたが、この箇所は、分かりません。

県道：本当に狭い道です。城尾側の岩盤を削り取ったものです。近世の工事によるものでしょう。城時代は、菊池川沿岸を通る踏み分け道程度であったと思われます。

登城道B：集落東端の登り口から、城内に入り、城尾の南東縁を突き抜けて、平野地区へ下った古道と思われます。川岸を通る踏み分け道より、はるかに条件が良い事が、分かります。

「熊本城内を抜けた道」

江戸時代初期は、熊本城内を街道が抜けていました。そこで、島津藩は、参勤交代の際に熊本城内を通った事がありました。その時、熊本城の築地塀狭間(小窓)の戸が一斉に開き、火縄銃の銃口が薩摩の一行に向けられたという逸話が残っています。

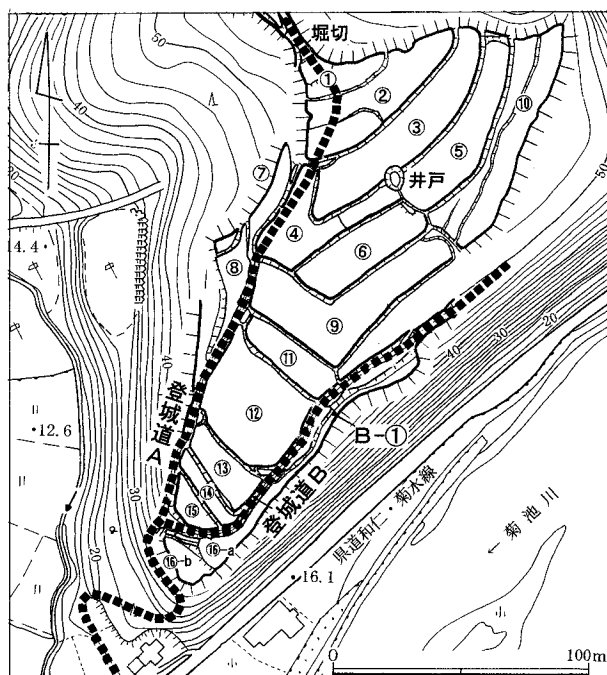
江栗城内の古道：鹿北町の山城である岩野城には、山頂の城床を菊鹿町に抜ける山越え道が通っています。江栗城内でも隣りの地区に通じる古道を確認出来るのは、貴重な事例です。

「付記」姫路城は、国宝で世界文化遺産です。平成の修理が終了して、「真つ白」な城になりました。慶長14年(1609)、五重七階の連立式天守が完成しました。徳川家康の次女・督姫と結婚して、播磨52万石の藩主になった池田輝政の手により、最上階まで、急階段を1時間待ちで登りました。人ごみの中、私はコケないように必死の思いで登り降りしました。やっと登り切り、城下を眺めましたが、疲れて、感動も湧きませんでした。私は、熊本城が一番だと思いました。



登城道B(南西→北東)

B-①(北東→南西:写真左下は絶壁)



江栗城跡 III郭 登城道